

◎自ら学びよく考える子 ○豊かな心と 丈夫な体をもつ子 ○島を愛し 世界を理解する子

自分の大切さとともに、他の人の大切さを認めること

校長 川畑 伊豆海

6月は第1回「ふれあい（いじめ防止強化）月間」でした。ふれあい月間は、年に3回（6月・11月・2月）行われます。その目的は、以下のとおりです。

～「ふれあい月間」の目的～

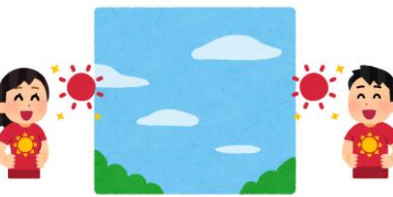
- いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校等の早期発見・早期対応、未然防止等につながる具体的な取組を実施する。
- いじめ、自殺、暴力行為等の問題行動、不登校等の状況について総点検を行い、現状や取組の効果等を把握する。

ふれあい って？

ふれあいこと
 ころを かよせあうこと
 きもちなどが おたがいに つたわる



きもち つたわってる??



きもち すっきり!!

○健全育成・いじめ防止等 ○自殺予防・教育相談等
 ○犯罪・非行防止等 ○不登校対応等 について、それぞれの取組を強化します。もちろん、ふれあい月間でのみの取組ではなく、年間を通して行っているものが、ほとんどです。日々「もしかしたら」「だいじょうぶかな」万が一を念頭に、そして、起きないために、小さな変化にも気付けるように、心掛けています。6月6日(月)の全校朝会では、生活指導部の担当者が、子供たちに分かりやすく話をし、普段の生活を振り返りました。

全国的なアンケートによると、「自分を大切にしている」と答えた児童は、「友達を大切にしている」と答えている割合が高く、「友達を大切にしていない」と答えた児童の多くが「自分も大切にしていない」と答えています。

思い返すと、私たち大人は、友達を大切にすること・相手の気持ちを思いやることは、小さい頃から子供に指導してきましたが、自分自身を大切にすることについては、不十分だったのではないかと感じます。もっと意識して、自分を大切にすることを伝える必要があると考えます。

しかし、人はなかなか自分のよさに気付かない、分からないものです。その子のよさに「気付く・見付ける・感じる」、そして「伝える・認める・ほめる」ことを大切に、学校と家庭と地域で一丸となって取り組んでいくことが必要です。ぜひ、できて当たり前と思わず、子供が続いていることや努力している様子に気付き、さりげなく毎日していることを見付け、優しい思いやりの気持ちを感じ、それらのことを言葉にして伝えていきましょう。照れくさいという場合は、文字にして、書き溜めて、誕生日や記念日にプレゼントするのもすてきだと思います。

学校では、コロナ禍でこれまでできなかった学習や行事を少しずつ復活させながら、他者と関わり、認め合い、伝え合う機会を増やしています。